

令和3年度

社会福祉法人 清風会

日向市立養護老人ホーム ひまわり寮

事業経過報告書

重点目標実績報告

「当施設における新型コロナ感染職員発生に伴う隔離を伴う感染対応についての報告」

対応期間：4月8日～4月23日

4月8日 当施設職員の家族が濃厚接触となる可能性が発生。翌日より職員は出勤を停止する。

4月9日 職員が密接となる介護を行ったとする女性利用者3名・男性利用者1名を隔離対応とする。また、職員と一定時間行動を共にした職員（4名）を出勤停止とする。

4月10日 職員家族が陽性となり、12日に職員と隔離中の利用者4名が検査をうける。
（職員は陽性・利用者は陰性）

4月12日 慶城会からの応援職員が隔離中の4名の対応を行う事となる。

4月13日～順次職員・他の利用者全員の検査実施。（全員陰性）

保健所の指示により事務所、食堂（厨房）以外はすべてレッドゾーンとなる。

以後保健所の指示のもと、利用者、職員の検査を行い、4月23日に感染対応解除となる。

感染対応の振り返りを6月24日に行った。（一部抜粋）

- ・専任隊との連携の取り方や防護服等が予想を超える量が必要だった
- ・勤務時間内殆どの時間を防護服で過ごした介護職員は、水分補給が出来ない、トイレに行けない、暑さ・息苦しさが想像以上だった
- ・職員数も減り、食事や排泄等必要最低限の支援しか提供できず、ご利用者への負担もかなりあった。
- ・認知症状を有するご利用者はゾーンの区分けを無視して行動したり、怒ったりする場面もあり、対応が難しい…等様々な意見がでた。

しかしながら、ご利用者に感染者が出ず、無事に収束できてよかったと感じている。今後も日々の感染対策を怠らずに、備えていくことが必要だと実感している。

令和3年度の重点目標

◎『安全』

- ・コロナ対応の影響は大きく、機能回復訓練やクラブ活動の中止が続き、自主的な活動が少ないご利用者に関しては身体機能低下が著しく、下肢力の低下、転倒リスクの増加につながった。
- ・職員自身がいつ感染するか分からない不安の中で、感染リスクを抑える為、職員自身も日ごろから行動や体調管理に留意し、勤務中のマスクや消毒等の感染対応、またスタンダードプリコーションの徹底、施設内の換気・消毒を実施した。
- ・体調の変化に応じて居室の変更や静養室の活用、または一時的な車いす等の使用、介助の必要な部分等においてミーティング等で随時検討し対応を行った。
- ・職員はご利用者から受けるストレス・業務の煩雑さからくる負担・職員同士の関係性など精神的なストレスもあり、施設長や主任等が話を聞くなどのメンタルケアを行った。

◎『礼儀たし』

- ・ご利用者と親しい話し方をする事もあるが、まずはご利用者との関係性を築き失礼に当たらない様に会話をする様に気を付けている。しかし、時には職員の言葉足らずの説明に不快感や不満を持たれるご利用者やご家族がおられた。今後も接遇について考える機会を持ち、丁寧な対応を心掛けたい。

◎『効率』

- ・自分の勤務時間内に仕事が終わる様取り組んでいる。また、各職種が連携し、スムーズに調整や処遇につなげているが、伝言不足もあり、職員自らが情報を得る努力も必要。周知徹底の方法についてさらに見直しが必要。

◎『毎日が笑 (SHOW)』

- ・病院以外の外出自粛が長期間にわたりご利用者もかなりのストレスになっていると思われる。遠出等は我慢できても、買い物や散髪（美容院）、散歩や墓参り等の日常生活を出来る限り可能にしていく為に検討した。また、マスクの常時着用で表情が分かりづらい為ジェスチャーや目の表情に気をつけて接した。

【施設サービスの質の向上】

- * 新規施設利用者に関しては、新型コロナの状況をみながら行った。秋口にいったん落ち着きが見られた事から12月～1月に新規入所が重なった。自立度は高い利用者が多かったが、職員は名前を覚える事や既往歴等の本人情報を覚える事が大変だった為、できれば入所時期を分散させたい。年々入所者の年齢も上がり、持病の悪化等年間の入所者数が減少する結果となった。
- * 継続入所者に関しては、ADL及び認知症等の維持改善に努めるとともに、疾患の状況等に関して日々の経過観察及び主治医連携に努め体調管理を行った。また利用者の意向を出来るだけ尊重しながら笑顔で元気に生活できるよう支援を行った。
- * 退院前のご利用者については、入院先の病院関係者とカンファレンスや連絡を密にとり、スムーズに施設復帰が出来るようにした。状況はご家族にも随時連絡し、退院後の状況等も連絡を入れた。
- * 養護一般利用者については生活支援の向上に繋がられる自立支援計画を作成し支援を行った。
- * 特定施設の利用者に関しては、生活ニーズに基づく施設サービス計画の作成及びサービスの提供を行わない自立支援へのサポートを行った。

【職員の資質向上】

- * 接遇に関して職員会議等を活用し求められる姿勢についての研修を行ったが、今年度は会議の開催を見送り書面開催となった月が複数あった。
- * 統一されたケアを行うため、申し送りや各種会議等での職種間の連携を強化し、全員で取り組み、達成させる組織作りに励んだ。申し送り不足等があるため、連携の仕方について検討が必要と思われる。
- * 外部研修の多くが中止となったが、オンライン研修がある物は参加を行った。
- * 社会福祉士（1名）・准看護師（1名）・介護福祉士（2名）受験した。
（准看護師1名・介護福祉士1名合格）
- * 新たに公用車取り扱い研修・ハラスメント研修を行った。

【入退所調整業務】

- * 1か月平均入所者数：56.83人（月平均入院者：2.2人）

8～10月に立て続けに利用者が5名急逝された事もあり、満床になる月はなかった。コロナ状況に応じて新規入所者を受け入れた為、11月～1月に8人の入所となった。

入院も毎月おられ、7名は施設復帰されたが、9名は復帰が難しく退所となった。

実践事項

1. 相談援助

- * 家族との連携：◎広報誌の発送に合わせてご利用者の生活状況を身元引受人へ報告した。面会の問い合わせに関してはオンライン面会を出来る限りお願いしたが、高齢のご家族だとオンラインの使用方法が難しい様だった。状態の変化が著しい方や健康診断にて異常があった利用者には、その都度ご家族へ状態報告を行った。

◎携帯電話を持つご利用者も増え、直接依頼をされるため生物の差し入れや多すぎる量を持ってこられるご家族等もおられ、都度ご家族とご本人へ説明を行うあり。

- * 相談援助：「なんでも相談日」にて金銭面の相談・施設等への要望・今後の不安など傾聴し、必要に応じて家族や行政など関係機関へつなげた。金銭管理について家族と入所者本人の意見が分かれる事案があり、現在行政も交えて調整中である。

- * 地域との連携：◎日向市社会福祉協議会と市内の養護老人ホーム及び特別養護老人ホームが実施する「日向市相乗りお買い物ツアー」にて財光寺地区の高齢者の買い物移動支援を行った。実施はコロナの感染状況に応じて決定されている為11月12月の2カ月間（3回）のみだった。（

2. 日常生活介護

◎『利用者の人権を尊重し、能力に応じ自立した生活を支援します』

入浴：プライバシーに配慮し、見守りや介護を行い常に安心して入浴が行えるような支援を行った。入所者自身が順番を把握できるようボードで掲示・繰り返しの声掛けを行った。介護においては自立を促し、出来ない箇所の支援を心がけた。

入浴時には全身状態の確認を行い皮膚疾患や転倒等痕跡の確認を実施した。

皮膚疾患について、軟膏や保湿剤を定期的に塗布し改善に努めた

入浴日 月・水・金曜日（女性）／火・木・土曜日（男性）

- * 排泄：排泄チェック表の活用・職員間の連携をより充実させ、排泄の声掛け・支援が過不足なく実施し、気持ちの良い排泄につなげた。

いろいろな紙パンツや尿取りパットを試し、ご利用者の状態のあった物を使用した。

排便確認等も行い排便困難者に関しては、水分摂取・歩行や軽運動の促進、緩下剤等にて調整を行うとともに、日頃より十薬茶服用等にて調整を実施した。

- * 更衣 : 時期に合わせ衣類や寝具の衣替えや不足衣類の購入支援をし、気温に合った装いが出来る様支援したが、ご利用者によっては重ね着をしている方や同じ衣類しか着ない方もいた。衣類の修繕や買い替えなど日ごろより利用者の様子をうかがい、行事の際はおしゃれ着と一緒に選んだり、趣味嗜好にそった衣類を購入する事で利用者とのコミュニケーションの場となった。
- * 移動 : 利用者の移動に関しては日常の歩行状況等を確認するとともに、廊下・食堂・浴室等の安全性を十分考慮し下肢筋力低下防止に努めた。また必要時には歩行器や車椅子等を有効的に活用し自立支援に努めた。転倒の防止の観点から履物にも注意し、介護業者等と連携しながら対応に努めた。日中のフリーな時間を利用し、廊下での歩行運動や立位保持訓練など必要に応じて実施した。

3. 日常生活の支援

◎『ご入所者の自尊心を大切にし、安心感を高める』『丁寧なコミュニケーションを意識する』

- * 個々の状況を把握し個別のニーズに応じられるような支援を行った。
 - ・ 利用者個々へ傾聴・受容・共感的理解を示し良好な援助関係が築かれるよう努めた。
 - ・ 利用者の意思を尊重するとともに、自由に発言できる環境や自主性が発揮できるような支援を実施しながら、集団生活がスムーズに送れる様に周りの利用者との調整も行った。
 - ・ 利用者個々の日常生活動作等を把握し、適切な介助方法（支援）で利用者の能力の維持・向上を図った。
 - ・ 居室の清掃確認等を定期的実施し衛生を保てるように支援した。
個々の要望を伺い、買い物の代行をおこなった。
 - ・ ご利用者それぞれの好みを把握し、コミュニケーションのきっかけとした。精神疾患をお持ちのご利用者の中には、特定の職員に固執するケースもあり、他の職員と協力し適度な距離を保ちながら支援できる様にした。

4. 介護予防

- * コロナ禍であり、外部講師による舞踊・音楽療法は一年間中止となった。個別リハビリ・マッサージ・カラオケ・DVD鑑賞・工作等の施設内で行える物を提供した。カラオケが好きなご利用者が多いが、飛沫の関係から実施を見送る月が多く、残念そうであった。
毎週水曜日の午後には、音楽に合わせて施設内の歩行運動や体操を行い、身体機能の維持を図った。

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| ・ 朝のラジオ体操及び合唱 | 月曜日～金曜日 | ミーティング後 |
| ・ 介護予防体操 | 中止中 | |
| ・ 口腔体操 | 毎日 | 昼食前 |
| ・ 各種クラブ活動 | 舞踊・音楽療法（中止中） | 園芸・カラオケ・工作を実施 |

- ・ 機能回復訓練 月1回 (5月以降中止)
- ・ 歩行運動 毎週水曜日 おやつ後
- ・ 個別リハビリ 随時
- ・ 脳トレ(プリント) 不定期
- ・ ナビウエーブ 不定期
- ・ 自転車ペダル漕ぎ 不定期

5. 健康管理

- * 利用者の健康状態を把握し、疾病の早期発見・早期治療に努めた。
 - ・ 健康診断実施(4月・10月)
 - ・ 瀧井病院・治田歯科・やまうち泌尿器科 定期往診
- * 医師・薬剤師の指導のもと適切な服薬・配薬管理を行った。
 - ・ 受診結果や処方内容について、適切な申し送りをした
 - ・ 内服自己管理利用者をモニタリングし、内服忘れを予防・状況に応じて変更。
- * 感染症マニュアルをもとに季節性インフルエンザ・ノロウイルスその他の予防に努めた。
新型コロナウイルスに関する研修やガウンテクニックなどの手技、ゾーニングやマニュアル作成など発生に対応する協議をすすめた。
 - ・ インフルエンザ予防接種(11月19日:46名)
 - ・ 肺炎球菌予防接種(9月:対象者7名)
 - ・ 食前の手洗いの励行
 - ・ 施設内の消毒施行(ジアッシュの散布を必要に応じ1~2/日・人が多く集まる場所にジアッシュの噴霧器設置)
 - ・ 入浴前検温(利用者)・出勤前検温(職員)の実施

6. 栄養管理

- * 栄養バランスや献立内容・味付けのほか身体的条件に応じた食事形態等を考慮し、季節感のある家庭的な雰囲気ですべての食事を提供した。
- * 食事摂取量の向上を図るため、利用者の食べたい物を伺い献立へ反映した。
 - ・ 栄養指導の実施 過体重・低体重・高血圧・糖尿病など対象者への個別指導
 - ・ 衛生管理の徹底 調理室・倉庫の清掃・消毒の定期実施、害虫駆除、検便
特に気になる点を月間目標として、一人ひとりが清潔に対して意識を高く持つように取りくんだ。
 - ・ 嗜好調査及び個別対応 嗜好調査の実施、個別聞き取り
 - ・ その他 各種研修会への参加、行事食の充実、適時・適温給食の実施

コロナ禍において、外出や行事が中止になる事も多く、食事が唯一の楽しみといっても過言でない状況であった。4月のコロナ感染対応終了後には、おやつにケーキを提供。たくさんの制限を一緒に乗り越えて頂いたご利用者に感謝を伝え、労をねぎらった。

7, 事故防止

- * 職員個々の意識及び知識を高めるとともに小さな気付きを職員相互で共有し事故防止に努めた。
 - ・ 事故報告書・ヒヤリハット報告書
 - ・ 事故対策委員会
 - ・ 車いす・杖・歩行器・シルバーカーの定期点検
 - ・ 市町村役場等との連携
- * 事故発生時には家族及び医療機関との連携を取り適切な対応を行った。
- * 職員の業務時間帯・内容と見守りが手薄になる時間帯を検討・調整し、見守りの充実をはかり事故防止につなげた。
- * 自室での単独行動において転倒リスクの高い利用者については、ご家族への説明の元センサーを活用したり、居室を変更しながら、未然に防ぐ取り組みを行った。

8, 苦情への対応

- * 苦情受付から解決までの体制整備を図り、利用者や家族等が苦情を申し出やすい環境整備に努めた。
- * 日ごろの会話を大切にしご利用者の要望・不満をすくい上げ、苦情に発展する前に解消できる様努めた
 - ・ 面会時等での家族との定期的面談
 - ・ 自治会及び日常生活の中での利用者からの聞き取り
 - ・ 気付きノートの作成、なんでも相談日に個別に聞き取り
 - ・ 苦情解決委員会の開催 ・ ご家族からの意見を伺う

9, 社会活動の参加と地域交流

- * 施設外活動・地域との交流については、新型コロナウイルス感染予防によりほぼすべての予定は中止となった。
農業小学校の取り組みも今年度は参加を見送った。

10, 環境美化・防災対策

- * 環境整備に関しては常に清潔を保ち利用者が快適で安全に生活が送れるよう維持管理に努めた。
 - ・ 環境美化委員会の取り組みにて
 - ・ 日常の清掃・消毒等
- * 防災対策としては日常の防災設備の整備・点検の実施・緊急時の連絡対策の整備を図るとともに、災害時には適切な判断・対応が出来るよう消防計画に基づき防災訓練を毎月する予定であったが、国の緊急事態宣言や県北域のコロナ感染状況をみて、集団で集まる事が懸念される月は中止とした。

11, 事務管理

- * 資産・備品等の適切な管理と整備
- * 適切な管理による経費削減
- * 環境整備の強化

- * 車輛運行の安全管理
- * 防災対策への強化

12. 施設設備等

- * 消防用設備定期点検
- * 簡易陰圧装置一式（6セット）*補助金
- * 汚水枡（竹寮）の取り換え *日向市
- * 自家発電装置交換 *日向市
- * 電動ベッド2台
- * 外部倉庫（非常食・コロナ感染対応物品）

《行事・催し物》

令和3年度

月 日	内 容	特 記 事 項
5月7日	DVD鑑賞・母の日	カーネーション
5月13日～14日	介護シューズ展示販売	ヒューマンサービス
6月10日	園芸	
6月15日	工作（七夕かざり作り）	
6月23日	DVD鑑賞	
7月5日	七夕飾りつけ	
7月8日	カヤシマ衣料品販売	
7月21日	DVD鑑賞	
7月29日	喫茶の日（ソフトクリーム）	亀の子イチゴ
8月11日	出前	トリトン
8月13日	迎え火	
8月15日	送り火	
8月17日	DVD鑑賞	
8月26日	出前	ながともうどん
9月16日	敬老会・9月の誕生会	
9月17日	DVD鑑賞	
9月20日	DVD鑑賞	
9月22日	彼岸供養・DVD鑑賞	ながともうどん
9月29日	出前	
9月30日	工作（コロコロ和紙）	
10月14日	レクリエーション（将棋・色塗り・オセロ）	
10月24日	レクリエーション（将棋・DVD・色塗り）	
10月22日	出前	ながともうどん
10月27日	衆議院選挙 期日前投票	利用者7名
10月28日	出前	ながともうどん
11月4日	カヤシマ衣料品販売	
11月19日	インフルエンザ予防接種	利用者46名
11月25日	芋ほり	
11月29日	買い物ドライブ	利用者4名
12月1日	買い物ドライブ	利用者5名
12月16日	誕生会	
12月21日・22日	ゆず湯	
1月2日	DVD鑑賞	
1月20日	誕生会	
1月31日	コロナワクチン3回目接種	利用者10名

2月2日	コロナワクチン3回目接種	利用者6名
2月3日	豆まき	
2月4日	コロナワクチン3回目接種	
2月8日	コロナワクチン3回目接種	
2月9日	コロナワクチン3回目接種	
2月10日	コロナワクチン3回目接種	
2月17日	誕生会	
3月8日	100歳お祝いの会（黒木里野さん）	ご家族2名

《 上記以外 》

- | | | | |
|-------------|------|-----------------|------|
| ・ カラオケクラブ | 1回/月 | ・ 工作クラブ | 不定期 |
| ・ 舞踊クラブ | 1回/月 | ・ 機能回復訓練 | 1回/月 |
| ・ 音楽療法 | 1回/月 | ・ 売店 | 1回/週 |
| ・ 屋外散歩等歩行訓練 | 随時 | ・ 屋外園芸活動・個別リハビリ | 不定期 |
| ・ 自治会総会 | 1回/月 | ・ 体重測定・血圧測定 | 1回/月 |

外部研修参加状況

令和3年度

月 日	内 容	参 加 職 員
7月13日	BCP 作成研修	相談員
8月11日	食を想像する研修	栄養士
9月2日	社会保険制度講習会	事務員
10月26日	BCP 作成研修（感染症）	相談員
12月2日	社会保険に関する研修	事務員
1月30日	介護福祉士資格試験	支援員2名
2月4日	給食施設研修会	栄養士
2月6日	社会福祉士資格試験	事務員
2月15日	准看護師資格試験	支援員

各委員会活動報告

【事故対策委員会】

◎事故報告書・ヒヤリハットについては月1～2回を目安に検討会を実施。早急に対応が必要な件については、一両日中に検討会を実施した。

(まとめ)

◎コロナ感染予防対策の為、様々な行事が中止となった。特に非常事態宣言が出ている間や県北域の感染者増加時期は、ラジオ体操・口腔体操等も中止となり、利用者の活動量の減少に影響が大きかった。個別リハビリや毎週水曜日の歩行運動を習慣化する事で下肢力維持を図るが、全体的には低下したと思う。

◎事故件数全体(130件)のうち、転倒事故が106件と約8割を占める。7件以上の事故発生がみられた利用者は5名いるが、中でも2名の利用者がブレーキをかけ忘れた事による「車いすからの滑り落ち」が15件と単独歩行が困難な利用者が一人で歩かれた事による「転倒」が14件と発生件数が多くなっている。事故発生利用者数が36名と増えており、かなり多くの利用者の身体機能が低下しており、転倒やケガにつながっていると推察される。コロナ禍による活動量の低下や意欲の低下、入所者年齢の高齢化、持病の悪化等要因は様々であるが施設内でできる生活リハビリが重要。楽しみながら一緒に運動が出来る機会の提供が必要。また、誤薬が5件発生。0件を目指すべく、繰り返しの名前確認を行っている。

【苦情解決委員会】

苦情受付：1件

◎洗濯物の配り間違い、その後の初期対応に対して苦情あり。

(概要) 二日前に出した洗濯物が戻らない事を尋ねたが、「どこか違う所にしまっているのでは？」と無責任な返事をされた。自分に非があるように感じた。その後他の職員も一緒に他室を探し出てきたので、洗い直し乾燥して戻してもらった。あまりにも早く戻ったので、実は洗わずに戻したのでは？と思った、との内容。対応として、不快な思いをさせた事に対し謝罪するとともに、乾燥についてはガス乾燥である為短時間である事を説明した。本人が携帯電話で直接家族に話をしており、家族も本人の話を受け問い合わせしてこられたので、丁寧に説明を行った。本人・ご家族ともに施設側からの説明に納得された。

* 洗濯物を配る際にも細心の注意を払う必要があるが、衣類への記名を見やすく行っておく事も大切である。しかし、配り間違いが分かった時点での最初の言葉を間違えない事が一番重要だと考える。

◎コロナ感染予防対策の為、今年度も多くの行事は中止・縮小となった。多くのご利用者はコロナの状況や高齢者のリスクについてもご理解があり、我慢いただいている。しかし、認知症や精神疾患を有する利用者の方は、どうして出かけられないのか？という事に繰り返し説明を要した。また一方で、活動の機会が減少する事で意欲の低下、身体機能・認知機能の低下を招いている事は明白だと考える。

◎高次機能障害を有するご利用者が感情の抑制が効かずに、些細な事でトラブルを繰り返している。都度当人と話をし、相手の気持ちへの寄り添いを求めるが当人同士の中が改善する事がなく難しい事案となっている。ご家族へも機会をみては、状況を報告し対応中である。

その他、職員が自分にだけ挨拶をしない、私の事が嫌いなのでは？等の不満も聞かれたが、朝のミーティング等において報告・検討し、利用者とのコミュニケーションを深める様に努めた。

◎四半期ごとに「なんでも相談日」を設けており、体調面・金銭面・将来について・家族について・施設生活においての困り事や不満を伺っている所である。

相談日や自治会において利用者からでた意見は職員会議や企画会議等で検討し、処遇に反映している。自治会での要望は、生活上におけるお互いへの配慮（声の大きさや時間帯）など些細な事であるが、トラブルの元になる事について意見が出ていた。その他食事の希望や外出・散髪についての希望も聞かれ、ご利用者も制限ある生活へのストレスが感じられた。

【ご利用者の生活を豊かにする委員会】

R3年 5月25日

R3年 7月27日

R3年 10月28日

R3年 3月22日

～ 今年度の取り組み～

- ① 出前で食事を楽しんでいただく
- ② レクリエーションの企画・実施
- ③ 利用者の声の代弁

《まとめ》

- ① 出前のメニューとして今年度はピザやスイーツを取り入れた。お寿司を注文する方が多かったが、ピザも目新しくおいしかったと評価をいただいたがピザの耳はやや硬そうであった。おまけについてきたナゲットやポテトなどのジャンクフードが「おいしい、おいしい」と人気であった。別の機会に話をすると「サッポロ一番」が食べたいと言われる方も多く、在宅生活時によく食べていたのだろう、と思われた。
- ② コロコロ和紙工作を企画し、希望者を募り行った。9名の利用者が作成し、簡単な作業であったがかわいらしいコロコロが出来上がり、楽しまれたようであった。材料費は実費だったこともあり、人数は少し限られたかな、と思う。

その他

- ・車いす・食堂椅子の点検や清掃は委員会メンバーのみで行うには時間や人数が足りない事から、月間行事に組み込んでもらい、当日出勤者で行うようにした。実際にはどこまで出来たのか、という把握も難しい。方法の再検討が必要と感じる。
- ・花壇の手入れ等は、得意なご利用者に任せる事も多かった。草取り等を数名のご利用者に声をかけ、一緒に行った。外出の機会も減っている中、外での作業はいい気分転換となった。

【働きやすい職場づくりを検討する委員会】

R3年 5月25日

R3年 7月27日

R3年 10月28日

R4年 2月20日

《今年度の取り組み》

- ①職員が必要な知識や技術を身に付ける
- ②共有できる、話しかけやすい職場づくり

《まとめ》

①感染症について資料をまとめ、配布した。

サービス計画書に説明書きを入れて、支援員に配布した。

②マスク着用で表情が分かりづらい中で「笑顔で挨拶をしましょう」とスローガンを掲げ、意識付けをおこなった。良かったと思う。

職員に対してアンケートを実施し、仕事をする上での困った事や聞きづらい事等を記入してもらった。

これからもみんなが働きやすい職場づくりを目指して取り組みたい。

【広報委員会】

R3年 5月25日

R3年 7月19日

R3年 10月21日

R4年 2月22日

《今年度の取り組み》

行事等を中心に広報誌を発行する。寮内の展示を行う。

《まとめ》

広報誌の発行に気を取られ、掲示板を活用し情報や掲示物の提供が不十分であった。

季節感を感じる掲示もできなかった。写真の掲示はご利用者が足を止め大変喜ばれていた。

パソコンの入力方法が分からず、新聞作成を担当する職員に限られるので、誰でも出来るように手順を作成したい

【危機管理委員会】

～今年度の取り組み～

R3年 7月16日

R4年 3月17日

《今年度の取り組み》

- ①BCPを作成する。
- ②必要物品をそろえる。周知徹底。

《まとめ》

B C P作成研修を受け、作成に向けた要点などを共有。実際に作成に取り掛かる事ができず、いまだ未完成である。災害用とコロナ物品を入れる倉庫を購入したので、きちんと整頓ができるようになった。4月にコロナ感染対応を経験した事から物品については、ひと揃え出来たと思うが、各施設で十分な量を揃える事は場所の問題や経費の問題などクリアしないとイケない問題がある。

【感染症対策委員会】

R3年 5月21日

R3年 8月19日

R3年 10月1日

R3年 11月18日

◎研修

R3年 6月 24日

【当施設のコロナ感染発生時の対応についての振り返り】

4月13日～23日の当施設のコロナ感染対応について全職員で意見を交わした。

職員1名の罹患者が出たが、ご利用者への感染がなかった事から最短の感染対応期間で終了する事ができた。

R3年 8月 26日 【ガウンテクニック研修会】

ガウンテクニックの再確認を行った。繰り返し練習する事で、必要時に間違いなく着用できる為、今後も定期的なチェックが必要。

【給食委員会】

毎月実施

◎ 清潔に関する事、業務に関する事など『月間目標』としてより意識を持ち、翌月評価を行った。

内容は今までも取り組んでいた事が多かったが、『目標・評価』とする事でより意識し取り組む事が出来た

◎ おやつ作りの開催が難しく、選択食・喫茶の日のみ開催となった。パンの選択・麺の選択・どんぶりの選択など、毎回企画を練り、ご利用者に選ぶ楽しみや食べる楽しみを提供できた。

◎ 積極的に旬の食材を取り入れ、誕生会では普段はあまり提供できない刺身等の献立をたてた。

◎ 体調や嚥下機能に応じた食事形態を提供し、安全にかつおいしく食べて頂ける様工夫した

◎ 健康診断等で異常値が出ている利用者に対しては医師・看護職員と連携し、補助食品や食事の工夫など、食事面でできる健康対策を実施した。

◎ 体重の推移に注視し、ケアカンファレンス等で注意喚起や取り組みの提案を行った。

◎ 自治会や嗜好調査で出た意見を参考に新しいメニューの提供も行った。

◎ 調理器具の適切かつ丁寧な取り扱いを行い、事故防止に努めた。

◎ 4月のコロナ感染対応中は食事の時間帯を分け、対応後はテーブルにパーテーションを立てて食事を食べて頂いた。ご利用者は勿論、職員も戸惑わない様に工夫や周知徹底に気を付けた。誕生会が開催できるようになってからも、食事は利用者のみとなり、以前の様に職員も

一緒に食事を楽しみ、お祝いができる雰囲気はまだ取り戻せないなので、早く以前の様な誕生日会や敬老会、屋外食等が行いたい。

- ◎ コロナ発生時や災害発生時、緊急時等にも慌てずに食事が提供できる様に、栄養士・調理員を中心に体制作りや必要物品の準備等に取り組んだ。来年度はシュミレーション等を行いながら、緊急時への備えを行う予定である。

【身体拘束廃止委員会】

委員会 R3年5月21日

R3年7月16日

R3年11月18日

R4年 2月17日

研修会 R3年 6月10日 【不適切行為の動画をみて研修】

- ◎不適切なケアから身体拘束につながる事を理解する事が、職員みずからの普段のケアを見直すきっかけになった。ケアの工夫。どうやったら改善できるのか、という事を組織全体で検討していく事が必要。

R3年10月21日 【スピーチロックとは何か】

- ◎身体拘束には直接身体を拘束する(見える拘束)とスピーチロックなどの言葉や態度による拘束(見えない拘束)がある。養護においては、見える拘束よりも見えない拘束へより注意を払い、理解を深めていく事が必要だと感じる。

【施設内研修・会議実施状況】

月 日	実 施 内 容	特 記 事 項
4月 6日	事故対策委員会	
4月 26日	企画会議・職員会議(書面)	
5月 18日	事故対策委員会	
5月 21日	企画会議・感染症委員会	
5月 25日	職員会議	
5月 31日	ケアカンファレンス	
6月 10日	身体拘束廃止研修	
6月 15日	事故対策委員会	
6月 17日	企画会議	
6月 22日	サービス担当者会議	
6月 24日	職員会議・感染症研修会	
7月 9日	清風会相談員部会	
7月 15日	入所カンファレンス・ケアカンファレンス	
7月 16日	企画会議・身体拘束廃止委員会	
7月 20日	虐待防止研修	
7月 27日	職員会議	
7月 28日	サービス担当者会議	
7月 29日	公用車取り扱い研修	
8月 10日	事故対策委員会・ケアカンファレンス	

8月 19日	企画会議・感染症委員会	
8月 25日	サービス担当者会議	
8月 26日	職員会議・感染症研修会	
9月 2日	事故対策委員会	
9月 9日	退院前カンファレンス（和田病院）	
9月 16日	企画会議	
9月 21日	サービス担当者会議	
9月 28日	職員会議・職員研修（ハラスメント）	
10月 1日	感染症委員会	
10月 5日	事故対策委員会	
10月 7日	ケアカンファレンス	
10月21日	身体拘束廃止研修	
10月26日	企画会議	
10月28日	職員会議・各種委員会	
11月 9日	事故対策委員会	
11月11日	ケアカンファレンス	
11月18日	企画会議・感染症、身体拘束廃止委員会 サービス担当者会議	
11月25日	職員会議・職員研修（救急蘇生）	
12月14日	ケアカンファレンス	
12月16日	企画会議	
12月21日	サービス担当者会議	
12月23日	職員会議	
1月 6日	ケアカンファレンス	
1月 11日	事故対策委員会	
1月20日	企画会議	
1月25日	サービス担当者会議	
1月27日	職員会議（書面）	
2月17日	企画会議・身体拘束廃止委員会	
2月18日	サービス担当者会議	
2月22日	事故対策委員会・職員会議（書面）	
3月 3日	事故対策委員会	
3月 17日	企画会議・伝達研修・事故再発防止委員会・危機 管理委員会	
3月24日	ケアカンファレンス・サービス担当者会議	
3月29日	職員会議	

職員会議は大勢が集まる会議のため、市内のコロナ感染状況により対面から書面に変更する月があった。その他の会議や研修もコロナに左右される事が多かった。

【レクリエーション実行委員会】

昨年はミニレクリエーションを行う事が出来たが、今年は大勢で集まることを懸念し、開催を

見送った。代替企画も開催せず。

【納涼祭実行委員会】

レクリエーション大会同様、今年はコロナ禍のため開催を見送った。

代替企画も開催せず。

【敬老祝賀会】

今年も来賓は招かず式典とご利用者のみの食事と規模を縮小し開催した。今年度は 99 歳を迎えるご利用者が 3 名おられた。カラオケや出し物もできず、ご利用者はやや残念そうな様子も見られた。

*各行事の後に広報誌を発行し、ご家族・関連機関へ発送した。

遠方のご家族や面会の機会が少ない方等へは相談員より情報書を添えて最近の状態や気になる点について報告を行った。

また、虐待対応中のご家族で新聞への写真掲載が出来ない方については、新聞のほか写真を添える事で状況の報告を行った。面会が中止になった事からオンラインで面会を準備した。

(5) 地域等との交流状況 (令和3年度)

体験学習・実習・視察等 施設来寮状況

月 日	団 体 名	特 記 事 項
7月12日	日向市福祉課 生活保護係聞き取り	対象者4名
11月11日	延岡市 現況調査	対象者1名
11月15日	日向市福祉課 生活保護係 聞き取り	対象者4名

社会福祉施設に係る指導監査及び実地指導

月 日	内容	主な検査項目	備考
5月20日	内部監査	令和2年度会計及び事業監査	

慰問・ボランティア・地域交流実績

月 日	団 体 名	特 記 事 項
11月30日	相乗りツアー (日向社協)	イオンまで (1名)
12月9日	相乗りツアー (日向社協)	イオンまで (2名)
12月28日	相乗りツアー (日向社協)	イオンまで (2名)

日時	火点等	参加者
4月 1日	医務室より出火(夜勤想定)	利用者 51名 職員 15名
5月 28日	洗濯場より出火 (夜勤想定)	利用者 50名 職員 13名
6月 17日	理容室より出火(夜勤想定)	利用者 46名 職員 14名
7月 21日	面会室より出火 (夜勤想定)	利用者 53名 職員 15名
8月 12日	警備員室より出火(夜勤想定)	利用者 49名 職員 14名
9月 9日	医務室より出火 (夜勤想定)	利用者 45名 職員 14名
10月 7日	職員シャワー室より出火(夜勤想定)	利用者 44名 職員 13名
11月 4日	医務室より出火(夜勤想定)	利用者 50名 職員 13名
12月 2日	給湯室より出火(夜勤想定)	利用者 46名 職員 13名
1月 13日	職員シャワー室より出火(夜勤想定)	利用者 53名 職員 15名
2月 10日	事務所より出火(夜勤想定)	利用者 48名 職員 11名
3月 3日	支援室より出火(夜勤想定)	利用者 50名 職員 13名

令和3年度 入退所状況

入 所 者				退 所 者			
入所年月日	性別	年齢	入所前	退所年月日	性別	年齢	退所後
R3. 7. 15	女	89	自宅	R3. 4. 14	女	86	医療機関
R3. 11. 24	女	89	自宅	R3. 8. 3	女	80	死亡
R3. 11. 30	男	69	自宅	R3. 8. 10	男	74	医療機関
R3. 12. 2	女	98	自宅	R3. 9. 21	男	96	死亡
R3. 12. 16	女	91	自宅	R3. 10. 16	女	85	死亡
R3. 12. 22	女	82	自宅	R3. 10. 18	女	92	死亡
R4. 1. 7	男	81	自宅	R3. 10. 19	女	99	死亡
R4. 1. 11	女	85	自宅	R3. 11. 15	男	75	医療機関
R4. 1. 17	男	89	自宅	R4. 1. 12	男	83	医療機関
				R4. 2. 14	女	94	医療機関

入所者状況

令和3年 3月31日現在

【年齢状況】

	65～69	70～79	80～89	90～99	100～	計	最高年齢	平均年齢
男性	2	9	6	4	0	21	99歳	81歳
女性	0	3	16	17	0	37	100歳	88歳
合計	2	12	22	21	0	58		86歳

【在所年数状況】

	1年未満	1年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年～ 15年未満	15年以上	計	最高在所日数	在所平均年数
男性	4	5	10	1	1	21	15年9カ月	5年1カ月
女性	6	15	15	1	0	37	14年2カ月	4年6カ月
合計	10	20	25	2	1	58	15年9カ月	4年9カ月

【所管別状況】

	日向市	美郷町	諸塚村	延岡市	門川町	合計
男性	17	1	2	1	0	21
女性	34	1	1	0	1	37
合計	51	2	3	1	1	58

【要介護認定者の状況】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	0	2	2	0	1	0	5
女性	0	0	4	3	0	3	1	11
合計	0	0	6	5	0	4	1	16

【移動状況】

	自立	シルバーカー	歩行器	車椅子	杖	介助 (車椅子使用含)	合計
男性	15	1	0	0	3	2	21
女性	13	4	1	5	6	8	37
合計	28	5	1	5	9	10	58

【排泄状況】

	自立	声かけ誘導	介助 (見守り含む)	計	尿取りパット 使用	紙パンツ使用 (夜間のみ含)	合計
男性	18	2	1	21	0	3	3
女性	29	0	8	37	11	10	21
合計	47	2	9	58	11	13	24

【入浴状況】

	自立	一部介助	全介助	見守り	合計
男性	10	9	2	0	21
女性	7	20	5	5	37
合計	17	29	10	5	58